

令和6年（2024年）5月10日

山陽小野田市議会議長 高松 秀樹 様

議会運営委員長 宮本 政志

陳情・要望書の審査結果について（報告）

令和6年2月9日付けで受理した陳情書（山田伸幸議員に対して厳重な処分等を求める陳情）について、令和6年2月26日から令和6年5月10日まで開催した議会運営委員会において審査を行いました。その結果を下記のとおり御報告します。

記

1 陳情・要望書の件名

陳情書（山田伸幸議員に対して厳重な処分等を求める陳情）

2 審査結果

まず、山田伸幸議員（以下「山田議員」という）は、令和6年1月30日において、議会報告会を欠席し、政務活動費を使用して研修に出席していたことを確認した。

山田議員がこのように行動した理由は、次のとおりであることが分かった。

- 1、研修への出席は公務であると考えていたため
- 2、民生福祉常任委員長から欠席の許可を得たと考えていたため
- 3、1月30日の議会報告会に必ず出席しなければならないとは考えていなかったため

これらに対して、議会運営委員会は、それぞれ次のとおり確認した。

- 1、議員派遣により行われる議会報告会は公務であり、政務活動費を使用して参加する研修は公務以外の活動である。
- 2、民生福祉常任委員長は議会報告会の欠席に係る許可権者ではなく、今回の欠席は議長に届け出るべきであった。しかし、届出に係る手続が明確ではないため、今後、検討する必要がある。
- 3、広聴特別委員会において、議会報告会を欠席して研修に行く議員がい

ることが事前に分かっていたにも関わらず、議会報告会が公務に属している旨や全議員に出席義務がある旨の周知が徹底されていなかった。

また、令和6年3月定例会において山田議員が居眠りをしていたか否かについて、山田議員からは「居眠りをした自覚はなく、居眠りをしていたか否かははっきりとは言えない」、「最近、いろいろな場面で意識が遠のくため、受診したところ、疾病があるという診断を受けた」との回答があった。

議会報告会の欠席と意識が遠のいたまま採決に遅れたことに対しては、山田議員から謝罪があった。

また、このたびの議会報告会の欠席の問題に至る背景や手続については、広聴特別委員長及び議会事務局からもそれぞれの不備に対しての謝罪があり、この点については議会全体で問題を共有し、改めるべきことを確認した。

以上のことから、陳情事項の①から③に対しては、それぞれ次のように対応することとした。

①及び③に対しては、山田議員から謝罪があり、また、その他の不備は議会全体で改めていくこととなったため、厳重な処分は行わず、また、報酬の一部返納等の議論は行わない。

②に対しては、本陳情により、公務は政務より優先するという共通認識が改めて形成されたため、これを議会全体に周知する。また、広聴特別委員会から、議会報告会は公務である旨を改めて注意喚起する。